

## 不登校児童生徒への対応事例 8 (中学校第 3 学年男子) ～関係機関との連携と校内体制の強化～

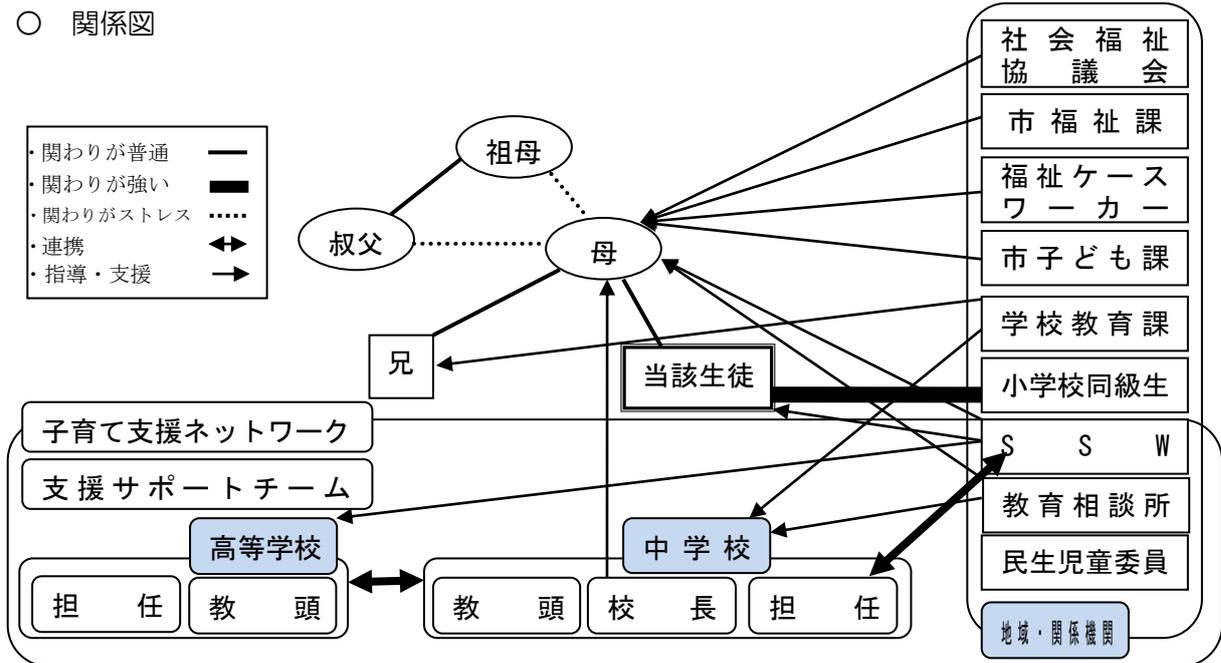
### 問題の把握

小学生の頃から欠席しがちであり、中学校入学後も 5 月上旬から欠席日数が増え始め、2 学期になり不登校の状態となった。第 1 学年、第 2 学年時は学級担任が家庭訪問を行っても本人と会えることが少なかった。第 3 学年になり、学級担任とも会える回数が増え、進学も意識するようになった。

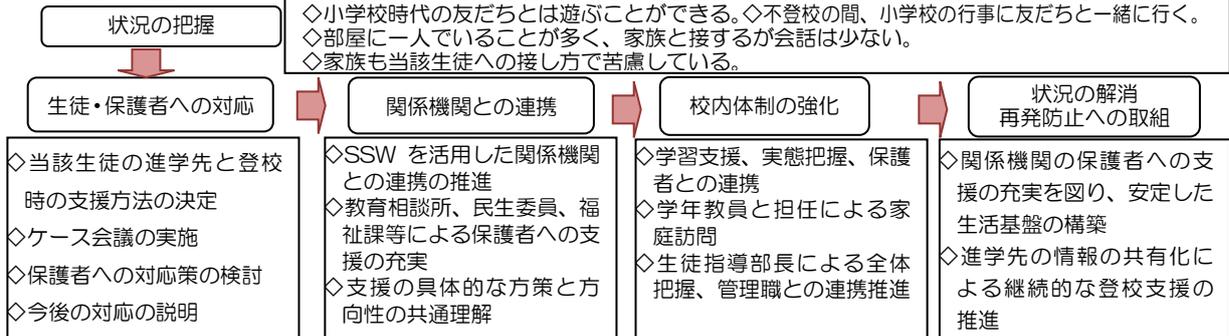
保護者が経済的なことを理由に、当該生徒に関わろうとしないことや、進級・進学についても積極的に取り組めないなど、当該生徒の家庭環境等にも課題があった。

### 対応状況

#### ○ 関係図



#### ○ 対応の経過



### 不登校の問題を速やかに解消するためのポイント

- ・ 関係機関との連携を早期に構築し、校内ケース会議、子育て支援ネットワーク会議の開催など連携組織を効果的に活用し、校内支援体制の充実を図る。
- ・ 学校だけではなく、関係機関からも家庭訪問を行い、当該生徒や家庭の状況を見極めて適切な段階で登校刺激を与える。